

平成23年9月29日に知事が訪問する2校の概要

1 神奈川県立釜利谷高等学校

所在地 (交通機関)	横浜市金沢区釜利谷東4丁目58番1号 (京浜急行線金沢文庫よりバス10分、徒歩2分)				
電話・FAX	045(785)1670 ・ FAX 045(786)4188				
学校HP URL	http://www.kamariya-h.pen-kanagawa.ed.jp/				
開校	昭和59年4月				
課程・学科	全日制の課程・普通科				
生徒数等		1年	2年	3年	計
	生徒数	284人	264人	240人	788人
	学級数	7学級	7学級	7学級	21学級
特色等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校百校新設計画の一環として開校以来、約7,000名の卒業生を輩出 ・ 平成21年4月に「クリエイティブスクール(※)」として位置づけ、これまで多くの可能性を秘めながら、持てる力を発揮できなかった生徒に対し、学習や高校生活への意欲を高められるよう、生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育を展開している ・ 学校運営協議会制度のしくみを活用した教育活動を支援する「釜利谷協議会」の設置や、社会人聴講生の受入れ、「スポーツ体験教室」の開催などを通じた地域との交流も盛ん ・ 部活動についても、ボウリング部、陸上競技部、野球部など運動系の部と、写真部など文化部でも活動が活発 				

※ クリエイティブスクール

「学習意欲を高める全日制課程の新たな学校のしくみづくり ～ クリエイティブスクール ～ 実施計画」として神奈川県教育委員会が策定(H19.12月)

○ クリエイティブスクールの基本コンセプト(3つの「C」)

- ・ 基礎・基本の学力の定着 Challenge (学びへの意欲)
わかることが実感できる学びの提供
学びへの意欲を高め、主体的に学びにチャレンジする環境づくり
- ・ キャリア教育の推進 Career (キャリア意識の涵養)
自らの将来像を描き積極的に進路を選択する力を育むキャリア教育の推進
- ・ 地域との協働 Community (地域との協働)
社会人としての規範意識を育て人間関係の場を提供する地域との協働体制

○ 県立田奈高校(横浜市青葉区)、釜利谷高校及び大楠高校(横須賀市)の3校

2 神奈川県立希望ヶ丘高等学校（定時制）

所在地 (交通機関)	横浜市旭区南希望が丘79番の1 (相模鉄道線 希望ヶ丘駅徒歩8分)																						
電話・FAX	045(361)5880 ・FAX 045(361)9789																						
URL	http://www.kibogaoka-h.pen-kanagawa.ed.jp/																						
開校・沿革	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大正14年4月 神奈川県立横浜第一中学校(現・希望ヶ丘高等学校)に併設する形で「私立神中夜学校」として開校 ・ 昭和12年 県立移管 「県立横浜第一中学校夜間部」 ・ 昭和23年 学制改革 「県立第一高等学校定時制」 ・ 昭和25年 改称 「県立希望ヶ丘高等学校定時制」 																						
課程・学科	定時制の課程(夜間)・普通科																						
生徒数等	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数</td> <td>149人</td> <td>109人</td> <td>119人</td> <td>74人</td> <td>451人</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>5学級</td> <td>4学級</td> <td>5学級</td> <td>3学級</td> <td>17学級</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	4年	計	生徒数	149人	109人	119人	74人	451人	学級数	5学級	4学級	5学級	3学級	17学級
	1年	2年	3年	4年	計																		
生徒数	149人	109人	119人	74人	451人																		
学級数	5学級	4学級	5学級	3学級	17学級																		
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒一人ひとりの学力を伸ばすため、授業については1クラス25～30人の小集団で実施 ・ 特に1年生の英語と数学では学習到達度に応じ、基礎から発展までの習熟度別授業を実施 ・ 1校時目の授業が始まる前の5時から実施する「0(ゼロ)校時授業」や、高卒認定試験や技能検定等校外での学習成果の単位認定などを通じて、3年間で卒業するための柔軟な学びのしくみを導入している ・ 4年次には各自の進路に応じ選択できる、さまざまな選択科目を設置 ・ 学校での活動時間が短い中で、水曜日を部活動の日としており、陸上競技部やバドミントン部、囲碁部などで全国大会出場等の実績を挙げるなど、運動部・文化部ともに活動は盛ん 																						